

= 扁桃炎・咽頭炎 =

咽頭とは？

「咽頭」は、上咽頭、中咽頭、下咽頭に分けられます。一般的に、咽頭炎が起こるのは中咽頭で、のどの突き当たりを指します。

扁桃とは？

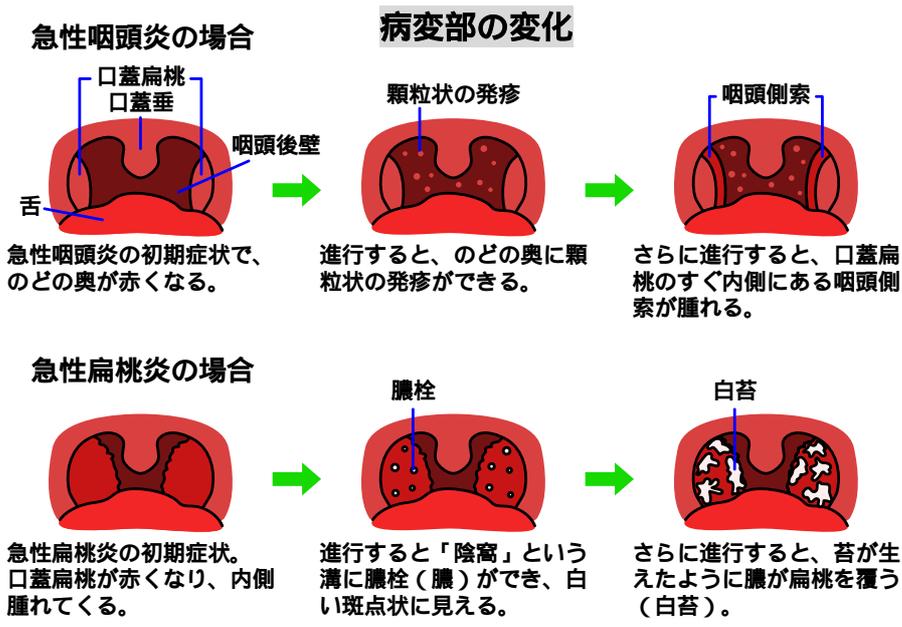
鼻や口は、体内への入り口なので、外から細菌やウイルスなどの異物も入りやすくなります。こうした異物の侵入を防ぐ働き（免疫）をするのが「扁桃」です。

口を開けたとき、口の奥の両側にあるのが「口蓋扁桃」といい、

そこには「陰窩」と呼ばれる穴が多数あります。

扁桃では常に小さな炎症が起きていますが、免疫の働きによって自然に治まります。しかし、免疫の働きでウイルスや細菌の活動を抑えきれないと扁桃に炎症が生じます。一般的に、扁桃炎とは口蓋扁桃の炎症を指します。

症状



治療

急性咽頭炎も急性扁桃炎も基本的な治療方法は同じで、原因が細菌の場合には抗生物質の服用が主体になり、患部にルゴール液を塗布することもあります。原因がウイルスの場合には特効薬はないので、安静にして、うがいを行い、十分に水分や栄養を補給することが大切です。

扁桃周囲炎・扁桃周囲膿瘍

口蓋扁桃の炎症が悪化すると、炎症が扁桃を覆う被膜を越えて周囲の組織にまで広がることがあります（扁桃周囲炎）。やがて周囲の組織が大きく腫れて、膿をもつようになります（扁桃周囲膿瘍）。これは扁桃の片側だけに起こることが多く、のどの痛みや、高熱などの症状が現れ、口が開けにくくなることもあります。

症状がひどい場合には、点滴や膿がたまっている部分を切開し、たまっている膿を排出する処置も行われます。

慢性咽頭炎・慢性扁桃炎

急性の炎症が慢性化した状態をいいます。原因として、寝不足、ストレス、喫煙など、日常生活の不摂生があげられます。

症状

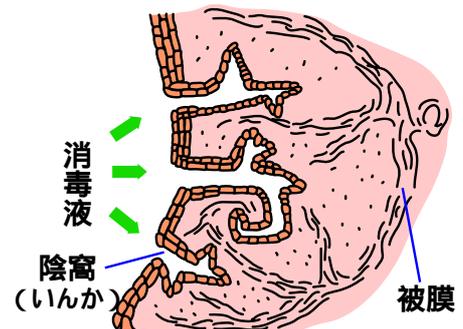
炎症は完治しないものの、急性期と比べ、ある程度治ります。症状も「のどに軽い異物感を感じる、扁桃が赤くなっている、体がだるい」という程度です。

治療

通常の状態では放置しておいても問題ありません。しかし、かぜやストレス、疲労などにより、体の免疫機能が低下すると、症状が急性に悪化し、急性のときと同じような状態になるので急性期の治療に準じて行われます。

慢性扁桃炎の場合、陰窩（口蓋扁桃の表面にある穴）に膿栓がたまっているような場合は、「陰窩洗浄」といって消毒液で膿栓を洗い流します。

陰窩洗浄



図は口蓋扁桃の一部分を拡大したもの。口蓋扁桃の表面には、溝がある（陰窩）。陰窩にたまった膿（膿栓）を消毒液で洗い流す方法が陰窩洗浄。

扁桃の摘出が必要なき

扁桃の摘出手術は、次のような条件が満たされている場合にのみ行われます。

・習慣性扁桃炎

年に4回以上、扁桃炎を起こすとき。

・扁桃の病的肥大がある

口の奥の両側にある「口蓋扁桃」が両方とも腫れて肥大することがありますが、扁桃肥大だけでは手術の適用になりません。食事が困難な場合や、呼吸に支障が出る場合は適応になります。

・病巣感染症の可能性が考えられる慢性扁桃炎によって、全身のさまざまな部位に、二次的に病気が引き起こされることがあります。これを

病巣感染症

病巣感染症と呼び、掌蹠膿疱症と腎障害（IgA腎症）に対して摘出術がよく行われています。

掌蹠膿疱症とは？

手のひらや足の裏などに、膿をもった皮疹ができ、それがかさぶたになって、そこからさらに皮疹ができる、ということ繰り返す病気。

ただし、慢性扁桃炎の患者さんすべてに発生するわけではなく、扁桃を摘出するといっても、すべての扁桃を摘出してしまっわけではないので、扁桃の免疫力が極端に落ちることはないので安心してください。

